

事業所名	グループホーム プリマホーム ※
日付	平成20年1月18日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 訪問介護員
自主評価結果を見る	自主評価結果を見る
評価項目の内容を見る	評価項目の内容を見る
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	『私たちは、御縁を頂いたお年寄りが、ご自分の新しい家だと思って頂けるよう努めます。「生きる喜び」「生きる意欲」がしぼまない施設づくりをめざします。』この理念の基で入居者・職員が家庭的な雰囲気の中で生きる意欲と生きている喜びを肌で感じながら、思いやりを大切にいつも笑顔のあるケアで共に輝けるグループホームを目指しています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	入居者一人ひとりの生活暦や習慣を把握しながら関わり方をスタッフ全員で話し合い支援しています。また自由に庭に出て散歩したりお休み所（あずまや風の六角屋根の付いたベンチ）で憩うなど自然な暮らしの支援と、入居者・家族と職員と一緒に畑で野菜を作ったりプランターで花を育てるなどして心身共に安定した生活への取り組みがされています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

歳評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

広い敷地に長屋をイメージした平屋建ての2ユニットホームで広場の端にはポンプ井戸があります。代表者には「災害の時などに地域の役に立つ施設で在りたい」という思いがあり、まず井戸を掘ってからグループホームを建てたと聞き地域密着への強い思いが窺えました。職員の言葉使いも自然で、表情も明るく入居者と共に笑顔のある暮らしを心掛け、チームワークを大切にした支援がなされています。排泄の自立によって2名の入居者が帰宅を果たされておりサービスの質の高さが窺えました。食事は朝食のメニューだけ決めておき、昼食と夕食、おやつは入居者の希望を聞いて献立を考え一緒に買出しに行き作るなど家庭的な支援がなされています。職員のケアに対する前向きな姿勢からは安定・育成・協働への取り組みに一丸となって努力されている様子が窺えました。

特に改善の余地があると思われる点

代表者の思いの実現に向けて今以上に地域交流への取り組みを期待します。

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	一人ひとりの出来る事（掃除・洗濯干し・洗濯たみ・調理など）を入居者と職員と一緒に楽しく出来る様に心がけ、残存機能の維持とコミュニケーションを大切に支援に取り組んでいます。日常生活のあらゆる場面での自然でさりげない介助を心がけ、居室への出入りも必ず声かけをしてプライバシーの保護に努めています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	入居者と家族・職員との信頼関係と職員間の連携を図りながらコミュニケーションを大切にケアを心掛けています。外部研修に参加して伝達講習を行ない、ホーム内の勉強会も前向きに取り組んでいます。問題発生後は全職員で話し合い早期改善に努め適切な対応への取り組みがされています。		